

## 室内手遊

### 摺み方

今度は摺み方を申しましょー、摺み方の紙は、たゞの半紙でもよろしくございますが、もし千代紙とか色紙とかをつかえば、なに奇麗でござります。

紙の質はやさしいものを摺むには、どんなのもよろしくございますが、むづかしいものになりますと、糊氣のない半紙か美濃紙がでいたしませんと、破れたりすることがあります。

紙の大きさは半紙を、縦に、三つに切つて、それをま四角にした位が、丁度よろしくございます。

先づ圖の通り一番から順に摺んでみましょー、

一番は縁とふちとを、能く合せて折り目を付けるのです、摺み方には、この折り目を付けると云ふ

ことが、肝腎でござります、どんなによく摺まうと思つても、折り目を付けなければ、きつと曲つてしまつてうまく出来ません、折り目を付けるには、片手でずらしないよーに紙をおさえていて、片手でそ一つとこすればよろしいのです、あまり力を入れて、こすりますとけばけばがたつて、きたなくなります。

外のお話が長くなりましたが、さーこゝに出来たものは、立てれば屏風になりますし、平に置けば本のよーです、屏風にしたならば、中え繪をかいてみてもおもしろいでしょー、本にしたならば表にとぢ糸をかき、本の名をかく紙などをはるとよろしいでしょー。

二番目は机です、この机は前の屏風をひろげてまん中のすちの所で、両方の縁を合せて、折り目

をつけて立てるのです。

三番目は前の机を、立てずに横に二つに折るの

です、圖を能くどちらんなさい、小さな屏風です。

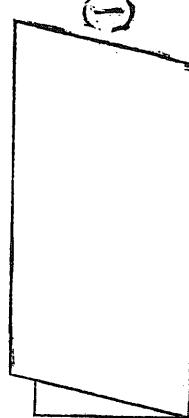
四番は前の屏風の折り目の所で、両方の縁を合せ、能くおしをおくのです、これは坐蒲團にいたしましょー。

五番は前の坐蒲團を、表の合せ目の通りに、二つに折るので、紙入れになります。

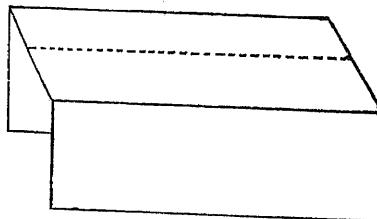
まだあります、次にかきましょー、皆さんも考えてこいらっしゃてどちらんなさい。



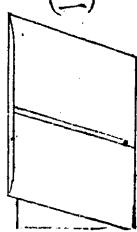
(一)



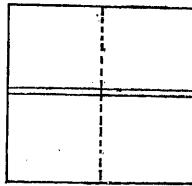
(二)



(三)



(四)



(五)

